



並木中等story

令和3年7月13日号

人は3つの私を持つ

今日は杉田峰康先生の『交流分析』（日本文化科学社）の内容の紹介になります。皆さんは、“人は3つの私を持つ”と聞いてどのように思ったでしょうか。私はぞっとすると同時に、そうかもしれないなとも思いました。先生によると、3つとは、「親の自我状態」「大人の自我状態」「子どもの自我状態」です。自我状態とは、“感情および思考、さらにはそれらに関連した一連の行動様式を総合した1つのシステム”と先生は述べています。「親の自我状態」は2つあり、「批判的な親の自我状態」は自分の価値観や考え方は正しいものとし、それを譲ろうとしない部分。「保護的な親の自我状態」は親切、思いや



り、寛容な態度を示す部分です。「大人の自我状態」は感情に支配されない自由な立場をとり、合理性、生産性、適応性を持ち、冷静な対応をする部分。「子どもの自我状態」も2種類あって、「自由な子どもの自我状態」は親のしつけの影響を受けていない生まれたままの自然の部分。「順応した子どもの自我状態」は、本当の感情や欲求を抑えて親や教師の期待に添おうと努める部分です。交流分析では人はこのようにいろいろな側面を持つ動物だと説明しています。（つづきがあります）

《令和3年度 学校説明会申し込み ありがとうございました。》

7月31日（土）開催予定の学校説明会へ多数の小学生・保護者から申し込みをいただき、ありがとうございました。おかげさまで満席となりましたので募集を終了いたしました。学校の紹介、説明は、今後、本校のホームページでも行います。そちらも、よろしく願いたします。